

看護学研究科 国際保健助産学専攻
ディプロマポリシー

修士課程に所定の期間在学し、修了要件となる単位数を修得するとともに、学位論文審査及び最終試験に合格し、以下の能力を有する人に、学位（修士（看護学））を授与する。

			修了時到達目標
1	倫理的な視点を内省に基づいた助産師として高度な実践能力		1-① 実践における現象から課題を抽出し、幅広い視点から分析できる。 1-② 人々の尊厳と、権利を擁護するために、倫理的課題を多角的に分析し、対応できる 1-③ 他者との相互作用を通して、自己を内省し、他者との関係性を築くことができる
2	助産学の発展に寄与する基礎的研究能力		2-① 既存の知識を吟味して研究課題を見出し、研究を遂行し、論文としてまとめることができる 2-② 実践における課題に対して、根拠に基づいて支援を遂行することができる
3	国際的視野から多職種と連携・協力し課題解決を図る能力		3-① 多職種と協働し、必要に応じて専門職としてのリーダーシップを発揮することができる 3-② 国際的視野から国内外の社会変化、研究知見、実践の動向を把握することができる 3-③ 変動する社会に対応し、専門職として自己成長し、専門領域の発展に寄与することができる

(必修)									
区分	授業科目	単位数	年次	開講期	研究	実践	DP1	DP2	DP3
ウィメンズ・ヘルス・プロモーション分野	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション特論Ⅰ	2	1	前期	●	●		○	
	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション特論Ⅱ	2	1	後期	●			○	
	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション特論Ⅲ	2	1	後期	●			○	
	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション研究Ⅰ	2	1	通年	●			○	
	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション研究Ⅱ	2	1	通年	●			○	
	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション研究Ⅲ	2	2	通年	●			○	
国際保健助産分野	国際保健助産論Ⅰ	2	1	前期	●	●			○
	国際保健助産論Ⅱ	2	1	後期					○
	国際保健助産論Ⅲ	2	1	後期					○
	国際保健助産演習Ⅰ	1	1	前期					○
	国際保健助産演習Ⅱ	1	1	後期					○
	国際保健助産実習	3	1・2	通年					○
	リプロダクティブ・ヘルスケア研究Ⅰ	2	1	通年		●		○	
	リプロダクティブ・ヘルスケア研究Ⅱ	2	1	通年		●		○	
	リプロダクティブ・ヘルスケア研究Ⅲ	2	2	通年		●		○	
ヘルスケア科学とヒューマニティ	HSH特講Ⅰ-1/情報科学Ⅰ	1	1	後期				○	
	HSH特講Ⅰ-2/情報科学Ⅱ	1	1	後期				○	
	HSH特講Ⅲ-1/医療社会学	2	2	後期			○		
	HSH特講Ⅳ-1/医療と文化	1	1	後期			○		
	HSH特講Ⅳ-2/赤十字と国際人道法	2	2	前期			○		
	HSH特講Ⅳ-3/英語購読Ⅰ	1	1	前期					○
	HSH特講Ⅳ-4/英語購読Ⅱ	1	1	後期					○
共通科目	発達と家族の理論	2	1	前期			○		
	看護研究特論	2	1	前期				○	
	看護理論	2	1	後期				○	
	コンサルテーション論	2	1	後期			○		
	看護政策論	2	1	後期		●	○		
	エビデンス・ベースド・ヘルスプロモーション	2	1	後期	●	●	○		
	助産フィジカルアセスメント	1	1	前期		●		○	
	助産病態生理学	1	1	後期		●	○		
助産学分野	基礎助産学特講Ⅰ	2	1	前期		●	○		
	基礎助産学特講Ⅱ-1	1	1	前期		●	○		
	基礎助産学特講Ⅱ-2	1	1	前期		●	○		
	基礎助産学特講Ⅲ-1	1	1	前期		●	○		
	基礎助産学特講Ⅲ-2	1	1	前期		●	○		
	実践助産学演習Ⅰ	2	1	通年		●	○		
	実践助産学演習Ⅱ	2	1	前期		●	○		
	実践助産学演習Ⅲ	2	1	前期		●	○		
	実践助産学演習Ⅳ	2	1	後期		●	○		
	実践助産学演習Ⅴ	2	1	後期		●	○		
	地域母子保健Ⅰ	1	1	前期		●	○		
	地域母子保健Ⅱ	1	2	通年		●	○		
	助産管理	2	1	後期		●	○		
	助産学実習Ⅰ	3	1	前期		●	○		
	助産学実習Ⅱ	2	1	後期		●	○		
	助産学実習Ⅲ	3	2	前期		●	○		
	助産学実習Ⅳ	2	2	前期		●	○		
	助産学実習Ⅴ	2	2	前期		●	○		
	助産学実習Ⅵ	1	1・2	通年		●	○		